

岡崎総第4-4号
2020年8月4日

関係機関の長 殿
関係各位

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
分子科学研究所長 川合 真紀 (公印省略)

分子科学研究所助教の公募について

分子科学研究所では、下記の要領で助教を公募しますので、適任者の推薦、希望者への周知方をよろしくお願いします。

記

公募人員	助教 1名
所属	極端紫外光研究施設 (UVSOR) 電子ビーム制御研究部門
職務内容	UVSOR-III を用いた放射光あるいはガンマ線や陽電子の発生と計測技術の開発を目指す実験研究。なお、本公募の助教は、当該研究部門の平義隆准教授と協力して研究を行う。また、当該施設の放射光ビームラインの維持管理および国内外の研究者による施設利用に関する業務を分担する。 大学共同利用機関の構成員として必要な活動* に参画するほか、総合研究大学院大学の助教として、大学院生への教育および研究指導を行う。 * https://www.ims.ac.jp/about/joint-approach.html を参照。
グループ Web site	https://www.ims.ac.jp/research/group/y-taira/
資格	修士課程修了者又はこれと同等以上の学力を有する者
雇用形態	常勤、定年制。研究所内での昇任はなく、6年を目途に転出を推奨する。(詳細は、ホームページ https://www.ims.ac.jp/recruit/policy.html および https://www.ims.ac.jp/recruit/kenkyukikan.html を参照。)
着任時期	2021年4月1日以降、できる限り早期。
公募締切	2020年10月9日(金) (必着)



提出書類	<p>次の(1)～(5)の書類をPDF形式で作成し、一つに集約したPDFファイルを電子メールに添付して提出すること（推薦書は別途提出可）。</p> <p>(1)履歴書（所定書式による。書式は下記URLから入手のこと）</p> <p>(2)研究業績の概要（A4用紙で3ページ以内 [今後の抱負を含めてもよい。]）</p> <p>(3)業績リスト（記載方法は下記URLを参照。）</p> <p>(4)主要論文（プレプリントも可）5編以内</p> <p>(5)推薦書（自薦の場合は不要）</p> <p>書式、提出書類の記載方法等の詳細は、次のURLを参照すること。 https://www.ims.ac.jp/recruit/teisyutu.html</p>
選考方法	分子科学研究所運営会議人事選考部会の審議を経たうえで決定する。ただし、適任者のない場合は、決定を保留することがある。
給与	給与は自然科学研究機構の規程により決定する。
送付方法・送付先	<p>応募書類は、電子メールにて岡崎統合事務センター総務部総務課人事係（ims-asstprof2020@orion.ac.jp）に提出してください。</p> <p>送付の際はメール件名を「電子ビーム制御研究部門 助教 応募書類」とし、メール本文に応募者の氏名および応募の研究部門名、職名を記載してください。</p> <p>また、添付ファイル（PDF）は、一つのファイルに集約してください（推薦書は別途提出可）。なお、集約したファイルの容量が20MBを超える場合は、それ以下のサイズに分割し、複数回に分けてメールを送付してください。</p> <p>送付後、4営業日以内に受領通知のメールが届かない場合は、人事係までお問い合わせください。</p>
問い合わせ先（給与等の待遇を含む。）	<p>大学共同利用機関法人 自然科学研究機構</p> <p>岡崎統合事務センター 総務部総務課 人事係</p> <p>電話：0564-55-7113</p>

■極端紫外光研究施設の構成

極端紫外光研究施設の教授および准教授の構成は、次のとおりである。

（ホームページ・組織一覧URL）

https://www.ims.ac.jp/research/field_list.html#uvsor

■その他

（1）男女共同参画

分子科学研究所は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画に取り組んでいます。なお、具体的内容は、ホームページ（<https://www.ims.ac.jp/recruit/sankaku.html>）を参照下さい。男女を問わず子育て・介護中の研究者に対する支援策等についてはこちら（https://www.ims.ac.jp/about/bunshi_sankaku.html）をご覧ください。

（2）個人情報の取扱い